

認定経営革新等支援機関による

中小企業・小規模事業者支援

優良取組事例集



経営革新の取組に向けた
ヒントやノウハウが満載

経済産業省 中小企業庁
経営支援部経営支援課

貫いてきた従業員第一の経営姿勢。 受注半減の危機にも一丸となってリスタート



認定支援機関の概要

平井 吉信

【機関種別】 中小企業診断士
【所在地】 徳島県小松島市小松島町
字中筋8-11
【設立】 平成10年2月
【従業員数】 1名
【認定日】 平成25年3月21日



中小企業・小規模事業者の概要

有限会社コスモエナジー

【業種区分】 製造業
【所在地】 徳島県小松島市立江町
字万代12番地
【設立】 平成9年
【従業員数】 43名
【資本金】 300万円



支援に至った経緯

きっかけは
市の巡回事業



経営状況の把握・課題設定

受注量が半減、売上も
半減、どうすれば？



解決策の提案・実施

より精密で高精細な
加工に特化する



今後の取組・フォローアップ

人事管理ほか
事務作業の軽減へ



1 市の巡回事業をきっかけに相談者の苦境を知る

相談者は、設立時は充電電池製造下請けが主たる事業だったが、平成28年、ハーネス（電装部品）の受注加工に転換。経営を軌道に乗せていた。令和2年のコロナ禍で、電子機器、電子部品のサプライチェーンが国際的に停滞し、受注が半減。平成30年と比較し、売上高も半減するなど、厳しい経営状況に陥っていた。同社は商工会議所や県の相談窓口も活用していたが、市の中小企業巡回訪問で、市の職員とともに当機関が同社を訪問したことをきっかけに支援することになった。



2

2 コロナ禍で受注が半減、生産性向上、効率化へ知恵を絞る

機械化になじみにくく細かな作業が求められる製造ラインでは、従業員の9割を占める女性パートタイマーが技術力で応えてきた。同社が得意先には選ばれる理由に多品種少量対応があるが、段取り替えや作業手順の確認など従業員への負荷が高く生産性向上が困難だった。状況を改善するにはコロナ後を見据えた戦略が必要と判断し、将来性のある分野（自動化ロボットなど）で使われる細かな配線を要するハーネスの受託加工に特化する中長期戦略を立案。機械設備投資を行うべく、事業再構築補助金（以下、同補助金）を申請した。

3

3 思いきった設備投資で高精細配線加工の指名受注を増やす

生産品目を、より精密な電子部品、電子機器に使われる高精細ハーネスの受託加工に特化することで、専門性の高い技術領域をアピールでき、顧客からの指名受注を増やすことができる。そのための機械設備を導入できれば生産性は上がり利益率も向上する。申請した同補助金は令和4年11月に採択され、機械化の環境は整いつつあり、受注量が回復。売上高もコロナ禍前の水準にまで回復した。期末の令和5年9月には、売上高が14%増加の見込みである。

4

4 専用アプリによる勤怠管理の自動化など事務作業等も効率化へ

製造ラインの機械化を進めてはいるが、まだまだパート従業員の技術力頼みの部分は多い。同社は一貫して従業員第一の経営を心がけ、企業内子育て支援や手厚い福利厚生で働き手を守ってきた。業績悪化時にも一切解雇は行わず、従業員が労働意欲を維持できたことは苦境を乗り越れた一因である。今後も従業員第一の方針を貫き、福利厚生により一層の充実を図る。加えて、事務方の作業軽減のため勤怠管理アプリ等の導入を推奨。現在も試験的な運用の支援を続けている。

支援を受けた
中小企業・
小規模事業者の声

問題に直面するたび同機関の相談室に足を運びました。そのたびに地域の現状などを公開できる範囲で教えていただき、その中で見えてきたものを手がかりに行動してきました。さらに同補助金申請への支援もいただきました。未来に向けて希望をもって事業を継続することができています。